SPF アメリカ現状モニター 論考一覧

※タイトルをクリックすると論考のページに移動します

https://www.spf.org/jpus-j/spf-america-monitor/

No. 110　2021/11/16

バージニア州知事選挙における民主党の敗退から見えてくるもの

中山　俊宏

慶応義塾大学総合政策学部教授

No. 109　2021/11/8

デジタル技術と政治の新潮流（番外編）
オードリー・タンと語る
「Democracy, Social Media and America」

渡辺　将人

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 108　2021/11/8

デジタル技術と政治の新潮流（後編）
台湾の政治現場との比較から

渡辺　将人

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 107　2021/11/8

デジタル技術と政治の新潮流（前編）
インフルエンサー選挙とは何か

渡辺　将人

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 106　2021/11/5

インド太平洋におけるバイデン政権の対中バランシング―最近の主な取り組みと日本の課題―

森　聡

法政大学法学部教授

No. 105　2021/10/28

世論調査にみる米国人の外交認識
内向きだがアメリカ・ファーストではない

渡部　恒雄

笹川平和財団上席研究員

No. 104　2021/10/27

アジア系アメリカ人とアメリカ政治

西山　隆行

成蹊大学学長補佐／法学部教授

No. 103　2021/10/21

医療扶助大国アメリカ

山岸　敬和

南山大学国際教養学部教授

No. 102　2021/8/27

バイデン政権を悩ますハリス副大統領という難題

渡辺　将人

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 101　2021/8/5

バイデン政権の対イラン JCPOA 間接交渉が示す柔軟な現実主義

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 100　2021/8/5

アメリカをめぐる４つのナラティブと国際主義

中山　俊宏
慶応義塾大学総合政策学部教授

No. 99　2021/8/3

アメリカを揺さぶるオピオイド危機④
「絶望」にはワクチンも治療薬もない

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 98　2021/6/11

トランプとバイデンについて
オバマ回顧録論 ⑦

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 97　2021/6/11

オバマにとっての北朝鮮と中国
オバマ回顧録論 ⑥

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 96　2021/6/11

諸外国と「文化」言及のジレンマ
オバマ回顧録論⑤

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 95　2021/6/11

政権の「公式写真集」として
オバマ回顧録論④

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 94　2021/6/7

バイデン政権と「民主的連帯」の外交をめぐる論議

森　聡
法政大学法学部教授

No. 93　2021/5/27

米国の中東政策とミドルクラス外交

中山　俊宏
慶応義塾大学総合政策学部教授

No. 92　2021/5/25

バイデン外交 100 日の評価
―自由で開かれたインド・太平洋戦略の布石が打たれた

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 91　2021/5/24

バイデンは「火事場泥棒」か？「変革的大統領」か？

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 90　2021/4/28

政治教育者としての「スピンドクター」
オバマ回顧録論③

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 89　2021/4/27

作家オバマの「文学作品」として
オバマ回顧録論②

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 88　2021/4/14

バイデン外交は本当に日本にとって「満額回答」か？

中山　俊宏
慶応義塾大学総合政策学部教授

No. 87　2021/4/12

アメリカ大統領回顧録とは オバマ回顧録論①

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 86　2021/3/10

シリアのシーア派武装勢力への武力行使から
バイデン・ドクトリンを考える

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 85　2021/3/8

「静かすぎる」バイデンケア

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 84　2020/12/24

茨の道を進む「バイデンケア」

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 83　2020/12/22

「ウォール街占拠運動 2.0」としての BLM：「新世代左派」と民主党の内紛危機

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 82　2020/12/21

バイデン次期政権とインド太平洋―青写真を読む―（後編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 81　2020/12/21

バイデン次期政権とインド太平洋―青写真を読む―（中編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 80　2020/12/21

バイデン次期政権とインド太平洋―青写真を読む―（前編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 79　2020/12/15

オースティン元中央軍司令官の国防長官起用をめぐる波紋：シビリアンコントロールを巡る左右からの批判

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 78　2020/12/15

バイデンの政治家としての気質とその可能性

中山　俊宏
慶応義塾大学総合政策学部教授

No. 77　2020/11/4

**激戦のアメリカ大統領選挙と
コロナ感染拡大が損なう米国の求心力**

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 76　2020/10/20

**ギンズバーグ判事急逝の余波から
党内反乱分子問題まで**

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 75　2020/10/7

ギンズバーグ連邦最高裁判所判事死去がアメリカ政治に及ぼす影響

西山　隆行
成蹊大学学長補佐／法学部教授

No. 74　2020/10/6

**アメリカのリトレンチメント論争
―リベラル・ヘゲモニー戦略と「ブロブ」の功罪―
（後編）**

森　聡
法政大学法学部教授

No. 73　2020/10/6

**アメリカのリトレンチメント論争
―リベラル・ヘゲモニー戦略と「ブロブ」の功罪―
（前編）**

森　聡
法政大学法学部教授

No. 72　2020/10/6

最強の候補、ジョー・バイデン？

中山　俊宏
慶応義塾大学総合政策学部教授

No. 71　2020/10/6

トランプ vs. バイデン、最後の戦い

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 70　2020/7/15

トランプ大統領が理解できない米国のシビル・ミリタリー関係

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 69　2020/7/9

**「不作為のトランプ的空間」としての日本
日本におけるトランプ評価の特異性**

中山　俊宏
慶応義塾大学総合政策学部教授

No. 68　2020/7/1

「バイデン政権」の外交を考える

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No. 67　2020/6/30

「警察予算を打ち切れ！」

西山　隆行
成蹊大学学長補佐/法学部教授

No. 66　2020/6/19

「プロチョイス・カトリック」のバイデン

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 65　2020/6/15

アメリカを揺さぶるオピオイド危機③
新型コロナ感染症 vs. オピオイド依存症

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 64　2020/5/21

新型コロナウイルスで変容する選挙キャンペーン

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No. 63　2020/4/27

新型コロナウィルス禍と当面の米中関係

森　聡
法政大学法学部教授

No. 62　2020/4/17

新型ウィルス感染が米軍を動かす「ソフトウェア」にもダメージか?

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 61　2020/4/15

サンダースと敗退した候補たち

中山　俊宏
慶応義塾大学総合政策学部教授

No. 60　2020/4/15

新型コロナウィルス禍とアメリカのマイノリティ

西山　隆行
成蹊大学学長補佐/法学部教授

No. 59　2020/4/14

新型コロナ、治療代が 820 万円！？
試されるアメリカ医療保険制度

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 58　2020/4/14

「戦時大統領」が含意するもの
－トランプ大統領と新型肺炎対策－

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No.57　2020/4/6

【特別シリーズ】台湾の選挙キャンペーン：
米台比較の視座から（④補論）

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.56　2020/4/1

【特別シリーズ】台湾の選挙キャンペーン：
米台比較の視座から（③後編）

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.55　2020/3/30

【特別シリーズ】台湾の選挙キャンペーン：
米台比較の視座から（②中編）

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.54　2020/3/25

【特別シリーズ】台湾の選挙キャンペーン：
米台比較の視座から（①前編）

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.53　2020/3/25

2020 年台湾総統選挙と米台関係

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.52　2020/3/19

【大統領選挙現地報告】

ウォーレン撤退とリベラル票の争奪

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.51　2020/3/11

【大統領選挙現地報告】
バイデンの「復活」と黒人票
「回帰」と「革命」で揺れる民主党

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授
ジョンズ・ホプキンス大学客員研究員

No.50　2020/2/13

【大統領選挙現地報告】
民主党主要候補集会の特質分析②サンダース、ブデジェッジ

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No. 49　2020/2/13

【大統領選挙現地報告】
民主党主要候補集会の特質分析①バイデン、ウォーレン

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No. 48　2020/1/29

結果オーライ？
イランとの戦争回避はトランプの政治的勝利か

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 47　2020/1/24

米中フェーズ 1 合意と当面の米中関係

森　聡
法政大学法学部教授

No. 46　2020/1/24

ジャクポーアってなんだ！？
―トランプ大統領の多国間国際合意に対する不信感―

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 45　2019/12/5

民主党の候補者問題とアイオワ党員集会
「バーチャル・コーカス」導入中止

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 44　2019/11/6

シリア撤退の反響と懸念されるトランプ外交の次の一手

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 43　2019/10/31

恋する民主党

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 42　2019/10/25

消え去らない老兵：SuperAgers による大統領選挙

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授
ジョンズ・ホプキンス大学客員研究員

No. 41　2019/7/22

トランプ・ドクトリンの追加事項：イランとの緊張、
大阪 G20 サミット、米中・米露・米朝首脳会談を経て

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 40　2019/7/16

民主党大統領候補としてのジョー・バイデン

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 39　2019/7/10

討論会で見た民主党の苦境―医療保険改革のジレンマ―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 38　2019/7/8

米大統領選、民主党候補第一回公開討論から（かろうじて）見えてきたもの

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 37　2019/6/25

米中協議とファーウェイ、そしてトランプ―大阪 G20 前に―

森　聡
法政大学法学部教授

No. 36　2019/6/24

「白人」対「白人」―イデオロギー的分極化の一側面―

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No. 35　2019/4/25

民主党版「オバマケア廃止（Repeal Obamacare）

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 34　2019/4/19

アメリカが後ろ向きになった時にどうするのか？：同盟に代わる「プランＢ」をめぐる議論

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 33　2019/4/16

バーチャル・コーカス？：アイオワ民主党の党員集会制度変更と含意

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 32　2019/2/8

マティス退任後の新トランプ・ドクトリンの可能性

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 31　2019/2/15

ワシントンにおける対中強硬路線の形成と米中関係（後編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 30　2019/2/15

ワシントンにおける対中強硬路線の形成と米中関係（前編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 29　2019/2/13

アメリカを揺さぶるオピオイド危機②

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 28　2019/2/13

民主党「穏健派」「リベラル派」の変容

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 27　2019/2/7

「弾劾（Impeachment）」について語り始めたアメリカ

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授
ウィルソン・センター ジャパンフェロー

No. 26　2018/11/27

貿易とテクノロジーをめぐる米中関係（後編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 25　2018/11/27

貿易とテクノロジーをめぐる米中関係（前編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 24　2018/11/13

2018 年中間選挙、注目票で振り返る

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 23　2018/11/12

2020 年大統領選挙に向けて民主党はどうなるのか？

西山　隆行
成蹊大学法学部政治学科教授

No. 22　2018/11/6

ペンス対中演説をどう読むか

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授
ウィルソン・センター ジャパンフェロー

No. 21　2018/11/6

ペンス演説はアメリカの対中戦略の転換を示すものか？

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 20　2018/11/1

中間選挙における重要争点：オバマケア

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 19　2018/7/27

民主党は「ポリティカル・コレクトネス」をどこまで追求するか

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No. 18　2018/7/26

米朝首脳会談再考と日朝の構図
―ジョージ・W・ブッシュ政権期との比較から―

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 17　2018/7/25

シンガポール米朝首脳会談と交渉プロセスの先行き

森　聡
法政大学法学部教授

No. 16　2018/7/25

トランプ外交の一貫性―シャルルボワ、シンガポール、ブリュッセル、ヘルシンキで見えてきたもの―

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 15　2018/7/18

アメリカを揺さぶるオピオイド危機①

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 14　2018/7/13

トランプ大統領の「先祖返り」外交の中東地域への影響

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 13　2018/5/15

民主主義の危機との共存？ソーシャルメディア選挙時代のジレンマ

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 12　2018/5/15

フロリダ銃乱射事件を機に、銃規制は進むのか？

西山　隆行
成蹊大学法学部政治学科教授

No. 11　2018/5/10

オバマケア、"low politics"へ

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 10　2018/3/20

「トランプ外交」の原則をめぐって

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No. 9　2018/2/13

トランプ政権の国家安全保障戦略と国家防衛戦略が示す現実主義と同盟国重視への回帰

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 8　2018/2/8

トランプの対中アプローチはどこまで変わるか（後編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 7　2018/2/7

トランプの対中アプローチはどこまで変わるか（前編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 6　2018/2/6

トランプ外交の一年：最悪事態は回避できたが…

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 5　2017/12/27

ヒルビリー・エレジー的言説がどうしても必要だった理由

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 4　2017/12/26

トランプ政権下で深まる政党内部の亀裂

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 3　2017/12/11

ドリーマーと共和党の困惑

西山　隆行
成蹊大学法学部政治学科教授

No. 2　2017/12/6

税制改革法案でのトランプ大統領と共和党議会の距離

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 1　2017/11/24

トランプのホワイトハウス: ケリーは秩序と規律を回復できるか？

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授